

単元名：修飾語

「修飾語を使って書こう」

(全4時間扱い中 第2時)

授業日時 令和3年10月14日(木)第2校時

授業学級 3年1組

授業会場 3年1組教室

授業者

指導者

(1) 主眼(授業の手立てとねらい)

どの言葉が修飾語なのかその判断に迷っている子どもたちが
一文の中に多くの修飾語が入っている文章に出会うことを通して
修飾語は係る言葉と被修飾語の関係があることに気づき
修飾語の働きや相手に伝わりやすい文章について考えを深めていくことができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの動き	・指導 ※留意点 《教材》 【評価】	時間
導入	1. 前時の確認	花の色が分かるようになった。 どんなふうになっているのがくわしくなってる。	赤い花がたくさんさきました。 修飾語を選び係る言葉に矢印を引く。 「赤い」は主語の「花が」に「たくさん」は述語の「さきました」に係っている。	5分
	【学習問題】 修飾語が語を詳しくしていることに気づく どの語を詳しくしているか気づく			
	【学習課題】修飾語がどの言葉に係っているか考えよう。			
展開	2. 前回のプリントの復習	「チモシーを」が修飾語だと思う。 「チモシーを」だとトカちゃんは何を食べてるかわかる。 「もぐもぐ」だとどんなふうに見えるかわかるよ。	・修飾語は語を詳しくするものと再認識する。 ・どの語を詳しくしているのか確認する。「チモシーを」に線を引いた人は何を詳しくしているか、「もぐもぐ」はどこに係っているか子どもたちに問う。	20分
	3. 教科書の問題に取り組む	「難しいな」 「これいっぱいありそう」 「書きました」に係ってるやついっぱいある。 「九州の」って「おじいちゃんに」に係ってるのかな 修飾語に修飾語が係ることもあるの？	・一文に複数あってもよい。一単語に複数係っていてもよいことを確認する。 ・教科書 p31 の問題について考える。(ワークシート) ・修飾語に二重線、どこに係っているか矢印を引く。 ・修飾語に係る修飾語があるということを確認する。	15分
終末	4. まとめ	修飾語って何個もあっていいんだ。 修飾語に係る修飾語もあることが分かった。	修飾語について気づいたこと、分かったことについて考える。	5分

【評価(対象)】修飾語の働きや相手に伝わりやすい文章について考えを深めていくことができる。(ワ